

# 図で見る滋賀県の姿2020

## 自然

### ■ 滋賀県の位置

【図1】



	地名	経度	緯度
東端	東近江市茨川町	136° 27' 19"	35° 09' 10"
西端	高島市朽木生杉	135° 45' 50"	35° 20' 43"
南端	甲賀市信楽町多羅尾	136° 01' 37"	34° 47' 27"
北端	長浜市余呉町中河内	136° 10' 29"	35° 42' 13"

国土交通省国土地理院

### ■ 地勢図

滋賀県の北緯でみると

- ①テヘラン(イラン)
- ②ペイルート(レバノン)
- ③メンフィス(アメリカ)

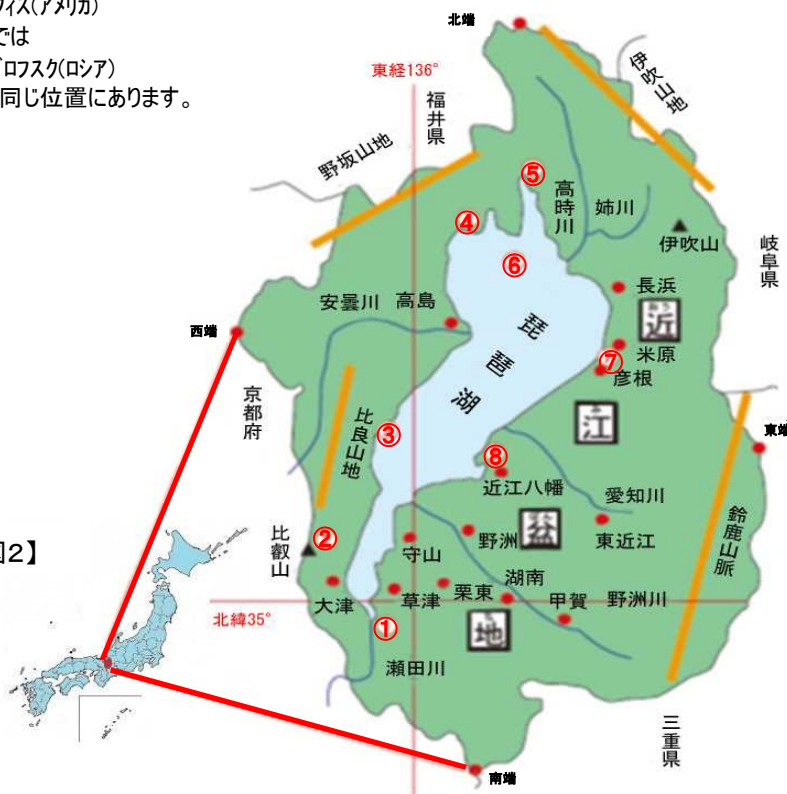
東経では

- ④ハハロフスク(ロシア)

とほぼ同じ位置にあります。

【図3】

【図2】



#### ● 琵琶湖

面積	669.26km <sup>2</sup>
周囲	235.20km
貯水量	275億m <sup>3</sup>
最大幅	22.8km
最小幅	1.35km
最大水深	103.58m
南北の延長	63.49km

滋賀の環境2019

水面標高  
大阪湾最低潮位  
(O.P.B.)+85.614m  
水資源機構 琵琶湖開発総合管理所

#### ● 琵琶湖八景

- ①夕陽・瀬田石山の清流
- ②煙雨・比叡の樹林
- ③涼風・雄松崎の白汀
- ④暁霧・海津大崎の岩礁
- ⑤新雪・賤ヶ岳の大観
- ⑥深緑・竹生島の沈影
- ⑦月明・彦根の古城
- ⑧春色・安土八幡の水郷

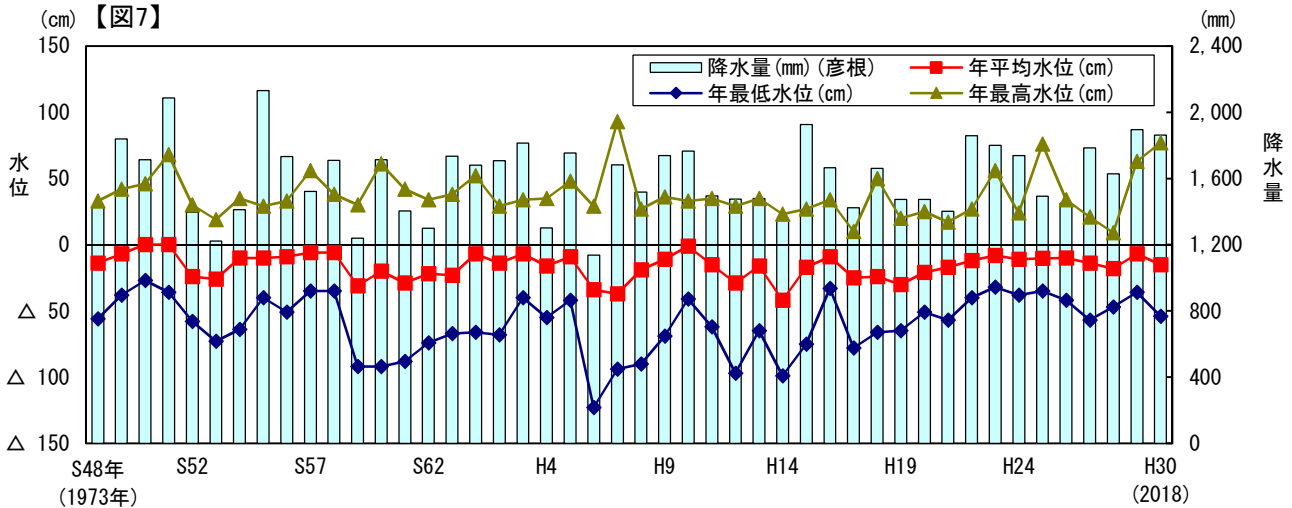
・滋賀県は、日本列島のほぼ中央に位置し、北は福井県、東は岐阜県、南東は三重県、西は京都府と接している。

・伊吹山地、鈴鹿山脈、比良山地など 1,000mを超える高い山々に囲まれた盆地で、中央には県総面積の約6分の1を占める、日本最大で最古の湖、琵琶湖がある。

・琵琶湖には大小約450本の河川が流れこみ、瀬田川と人工の琵琶湖疏水から流れ出している。計算上、湖の水が全部入れ替わるには約19年かかる。滋賀県をはじめ近畿約1,450万人の水道水源であり、農業用水、工業用水などにも利用されている。



## ■ 降水量と琵琶湖の水位の変化

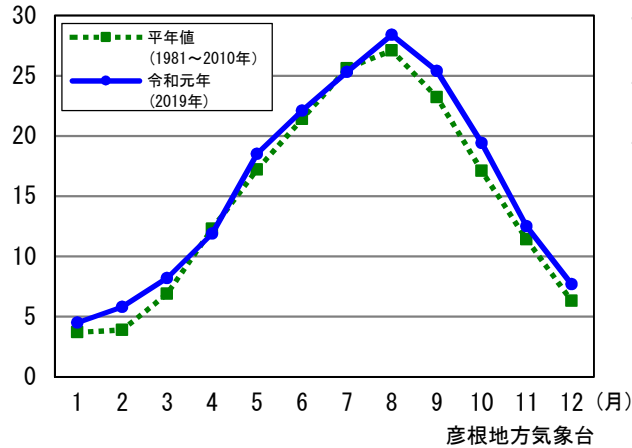


※2 年平均水位は、片山、堅田、大溝、彦根、三保ヶ崎の5カ所(平成4年3月以前は鳥居川観測所)の午前6時の平均値の合計を年間日数で除した値。  
 ※3 降水量は彦根の合計

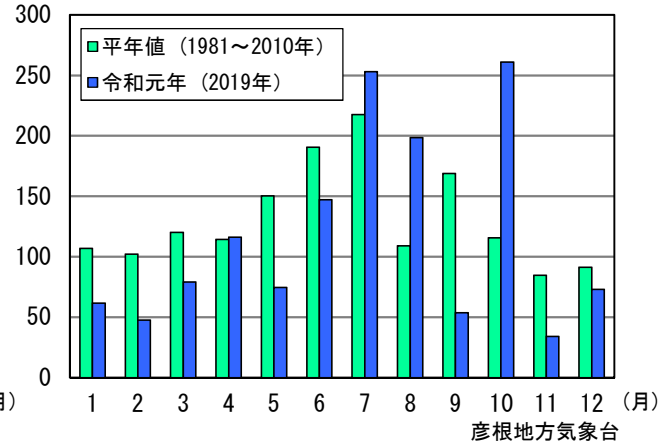
近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、彦根地方気象台

## ■ 気温と降水量

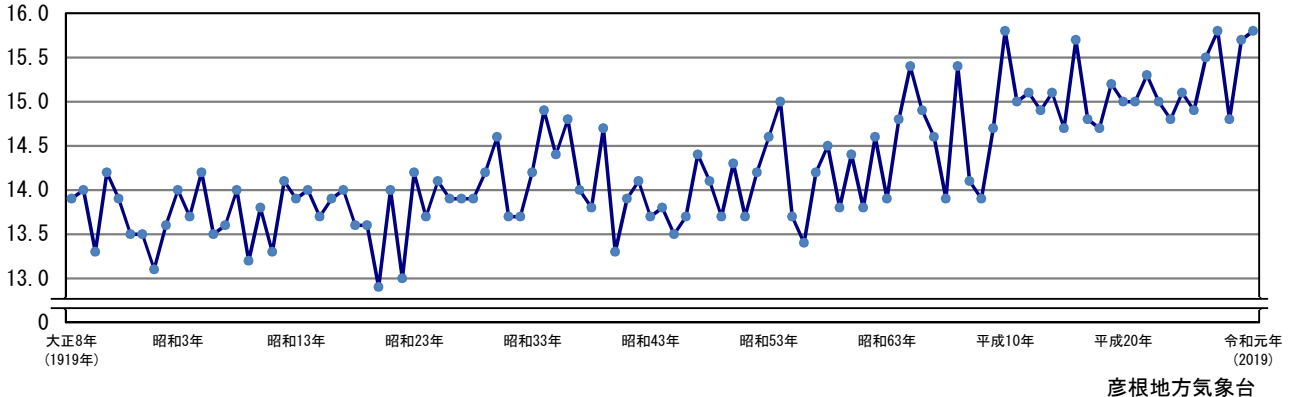
(°C) 【図8】平均気温の平年値との比較(彦根)



(mm) 【図9】降水量の平年値との比較(彦根)



(°C) 【図10】年平均気温の推移(彦根)



- ・昭和48年以降の琵琶湖の平均水位をみると、昭和52年以降マイナスが続いている。降水量は大きな変動があるものの、全体としては横ばいである。(図7)
- ・令和元年の平均気温を平年値と比較すると、特に10月が高くなっている。また、降水量を平年値と比較すると、特に、10月が多く、9月が少なくなっている。(図8)(図9)
- ・大正8年からの年平均気温の推移をみると、上昇傾向を示している。(図10)